

## 口頭⑧

### 調剤薬局における HIV 患者様への服薬サポート

女子医大通り店  
○鈴木 伊織  
八木 諒子  
寺元 舞

#### 【目的】

今年度、厚生労働省から発表された「患者のための薬局ビジョン」にかかりつけ機能とは別に「高度薬学管理機能」が盛り込まれた。高度な薬剤的管理ニーズへの対応を薬剤師が患者様に対して行うもので、その内容の中に「抗 HIV 薬服用患者の場合に、他の併用薬等の情報をもとに、適切な抗 HIV 療法を選択できるように支援」という記載がある。

抗 HIV 療法では、患者様の服薬コンプライアンスが重要となる。そのため、支援する薬剤師も抗 HIV 患者様の併用薬の把握や患者様自身の体質や服薬サポート時の対応が重要になってくる。また、毎年変化する抗 HIV 療法に使用される薬剤の特徴、副作用や併用禁忌薬などを把握する必要がある。

そのため、女子医大通り店と若松町エリアの 4 店舗の協力を得て、抗 HIV 患者様の服薬コンプライアンスや副作用等の確認と、薬剤師に対して最新の抗 HIV 療法に関して資料を作成し発信した。

#### 【方法】

①抗 HIV 療法を行っている患者様の体質や併用薬等を確認

薬歴にて「年齢」、「性別」、「疾患・既往歴」、「併用薬」、「副作用歴」、「服薬サポート時の患者様への対応」を調査

②抗 HIV 療法チェックシートを用いて服薬コンプライアンスの確認

若松町店、第二女子医大通り店、本店、河田町店、女子医大通り店の 5 店舗で、服薬サポート時にチェックシートを用いて服薬コンプライアンスの確認と併用禁忌薬の使用の有無、副作用の発現などを調査

③2016 年度版 推奨されている抗 HIV 治療薬の一覧・服薬コンプライアンスと治療効果について・抗 HIV 治療薬と禁忌薬の一覧を作成し、各店舗に配信

#### 【結果・考察】

チェックシートで服薬コンプライアンスを確認した結果、ほとんどが一月のコンプライアンスが 95%以上だった。また、併用禁忌薬の使用もなく、仮にあった場合も代替薬に変えて治療していることが分かった。

一方で服薬サポート時に患者様が薬剤師に求めている対応方法が多いことが分かった。患者様との信頼関係を築くために、患者様が求めている対応を十分に確認し服薬サポートを行うことが重要なことだと分かった。